



平成 20 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 IMV株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本二郎
(JASDAQ・コード7760)
問合せ先 総合企画部長 秋吉謙治
電話 06-6478-2575

省エネ型振動シミュレーションシステム開発のお知らせ

動電型振動シミュレーションシステムで国内シェアトップのIMV株式会社（本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長：岡本 二郎）は、振動シミュレーションシステムの消費電力を従来比約40%に抑えることで、CO2 排出量と電力消費量の削減に貢献する新技術を開発し、これを用いた省エネ型振動シミュレーションシステム8機種を、2009年4月に発売いたします。

記

■製品化の背景と技術の概要

当製品に使用されている省エネ技術は当社が推進する振動試験高度化計画“ISM”の中核をなす技術として開発されました。この活用により、試験中の自動的な省エネ運転が可能となり、ランニングコスト削減や環境負荷の低減が実現されます。動電型振動シミュレーションシステムは性能の高さから極めて多目的に使用されています。この為、従来技術ではシステムが常に最大能力で運転されることを前提として励磁電流や冷却ファンの回転数が設定されていました。しかし現実には常に最大能力で運転されることはないのも、より効率的な運転技術が望まれていました。当該技術は運転条件に応じ自動的に最適電力制御を行う技術で、無駄な電力や騒音を排除することができます。

■期待される効果

当技術を使用することで装置の消費電力が低減され、CO2 排出量と電気料金が削減されます。例えば加振力 24kN の装置の場合、CO2 排出量は年間約 24 トン、電気料金は約 69 万円の削減が見込まれます。また条件により装置の低騒音化も可能となり、従来設置が困難であった場所にも設置が可能となり、工場敷地の有効活用が期待できると共に、防音工事等の付帯工事費用の削減にも繋がります。

■当社事業への影響

今回発売した新製品は昨今の顧客要求に合致した差別化製品であり、付加価値も高いため、シェア拡大と収益性の向上に寄与するものと見込んでおります。今後はラインナップを拡大することで更なる収益の向上を目指して参ります。

■主な特長

- ◆ 独自の省エネ技術により CO2 排出量の削減に貢献します。
- ◆ 消費電力を低減することで電気料金を削減します。
- ◆ 低騒音化により防音室等の付帯工事費を削減することが可能です。
- ◆ 自動的に運転を最適化するので、オペレーターによる煩雑な設定は一切不要です。
- ◆ 専用アプリケーションにより CO2 及び電力消費量の削減実績が一目で確認できます。
- ◆ 標準価格：248 万円（EM2400 の場合。システムにより異なります）
※上記はシステムへの追加金額です。省エネ機能のみでの販売予定はありません。
- ◆ 販売予定時期：2009 年 4 月
- ◆ 販売予定台数：50 台／年

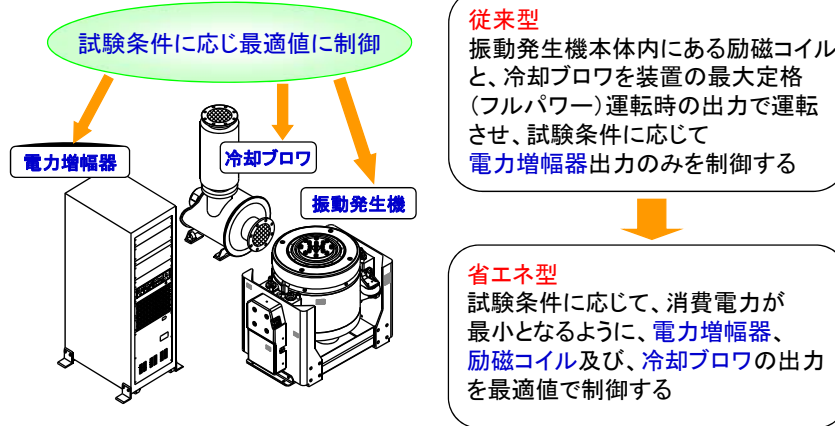
以上

(添付資料：システム概要と省エネ効果のシミュレーション)

省エネ型振動シミュレーションシステム



省エネ、CO2削減対応製品という顧客の重要な購買条件に応じて省エネと低騒音を特徴とする振動試験機を開発

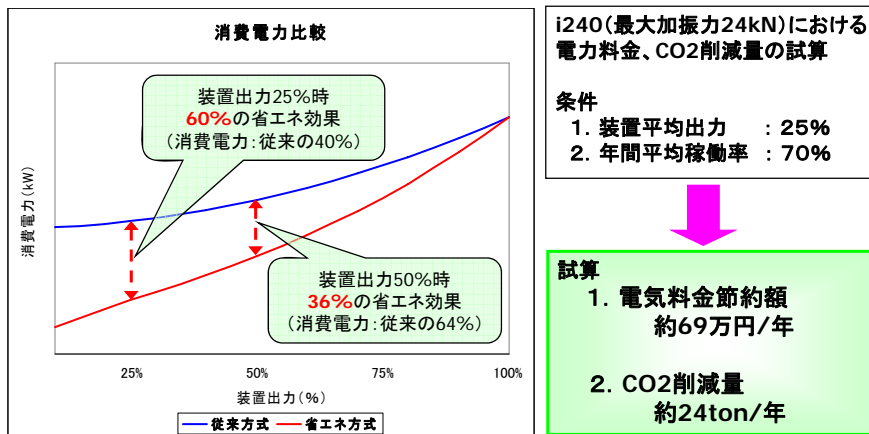


Copyright © IMV CORPORATION 2008 All right reserved

省エネ型振動シミュレーションシステム



省エネ効果の比較（実験データによるシミュレーション）
（当社製品i240/SA3Mをランダム加振で使用した場合）



Copyright © IMV CORPORATION 2008 All right reserved